

令和2年度第1回八千代市生涯学習審議会 会議録

会議名 令和2年度第1回八千代市生涯学習審議会

開催日時 令和2年7月28日(火) 午前9時55分～11時10分

開催会場 八千代市教育委員会庁舎 1階 第1・第2会議室

議題 (1) 八千代市生涯学習審議会会長の選出について  
(2) 八千代市生涯学習審議会副会長の選出について  
(3) 第2期生涯学習推進計画に係る進捗状況調査の報告について  
(4) 八千代市生涯学習基本構想の今後について

出席者名

出席委員 上條 秀元 委員(市民)  
小石川 秋三 委員(市民)  
小林 詔三 委員(市民)  
小出 正雄 委員(関係団体の代表者)  
岡 聖一 委員(関係団体の代表者)  
黒沢 昇 委員(関係団体の代表者)  
豊田 正昭 委員(関係団体の代表者)

事務局 大澤 利和 (教育次長)  
蕨 茂美 (教育委員会参事)  
斎藤 仁 (生涯学習振興課 主幹)  
春田 泰宏 (文化・スポーツ課長)  
松本 亮二 (生涯学習振興課副主幹)  
保谷 菜穂 (生涯学習振興課主任主事)

公開又は非公開の別 公開

傍聴人定員及び傍聴人数 定員4人/傍聴人0人

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047(481)0309

**【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】**

それでは、定刻前ではありますが、始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

ただいまから、令和2年度第1回八千代市生涯学習審議会を開会いたします。

本日、司会を務めさせていただきます生涯学習振興課の松本と申します。

どうぞよろしくお願いいいたします。

はじめに、本日の資料を確認させていただきます。

「会議次第」

「席次表」

「八千代市生涯学習審議会委員及び事務局職員名簿」

「八千代市生涯学習審議会条例」

「八千代市生涯学習審議会条例施行規則」

「資料1 議題(3)に対する質問表」

本日お配りしている資料は以上となりますが、

委員の皆様方に事前に郵送をさせていただき、本日ご持参をお願いしておりました資料といたしまして、

「第2期生涯学習推進計画に係る取組項目の進捗状況調査結果」（令和元年度分）、A3横サイズの資料とA4横サイズの資料

「八千代市生涯学習基本構想」の今後について

その他、事前に郵送はしておりませんが、ご持参のお願いをいたしました、

「第2次八千代市生涯学習基本構想」

「第2期生涯学習推進計画」

以上となりますが、資料の不足がございましたら、お申し出ください。

よろしいでしょうか。

続いて、皆様方のお手元にありますマイク的使用方法についてご説明いたします。

本会議中におけるマイクの使用につきましては、発言をされます前に、必ずボタンを押してからご発言いただき、発言終了後、再度ボタンを押してくださいますようお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第2「委員及び事務局紹介」になりますが、本日ご出席の委員の皆様と、事務局職員を紹介させていただきます。

はじめに、委員の皆様をご紹介いたします。

[委員紹介]

なお、黒沢委員と岡委員におかれましては、前回の生涯学習審議会以降に、関係団体の代表者になられ、新たに生涯学習審議会委員となられましたことをご報告申し上げます。

今回、新たに委員になられました、お二方様より、一言ご挨拶をいただければと思います。

まずは、八千代市公民館サークル協議会会長の黒沢委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

#### 【黒沢委員】

八千代市公民館サークル協議会の会長になりました黒沢です。

よろしくお願いいたします。活動は村上公民館で行っております。

こういった場は初めてなので、分からないことも多いと思いますが、いろいろご指導よろしくをお願いいたします。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

続いて、八千代市校長会の代表で、村上東中学校校長の岡委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

#### 【岡委員】

村上東中学校の校長の岡です。令和2年度はコロナのことで、学校現場も、それから教育委員会も大変な思いで、子どもたちが本当によく学校に来てくれているなっているところ です。

これから先をまた見通しながら、校長会、教育委員会等と、そして地域の方たちと、意見交換しながら、子どもたちが安心して通えるような学校現場を作っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### 【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】

ありがとうございました。

なお、小山田委員におかれましては、所要のため、本日は欠席とのご連絡をいただいております。

続きまして、事務局の職員を紹介いたします。

#### 〔事務局職員紹介〕

続いて、次第3の「議題」になりますが、議題に入らせていただく前に、八千代市生涯学習審議会条例第5条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることとなっておりますが、長岡会長が辞職されましたことから、現在、会長が不在となっております。

この後、議題(1)で会長の選出がございますが、それまでの間、副会長であります小出委員に議長をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**【委員一同】**

(異議なし)

**【事務局（生涯学習振興課 松本副主幹）】**

ありがとうございます。

それでは小出副会長、よろしく願いいたします。

**【小出副会長】**

副会長の小出です。皆様にご協力をいただきながら、会議を進行してまいりたいと思いますので、よろしく願いします。

本会議は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」第4条の規定により、公開としております。

また、会議録作成のため、録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。

本日の出席者は7名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議が成立しました。

それでは、次第3「議題」に移らせていただきます。

議題(1)「八千代市生涯学習審議会会長の選出について」事務局から説明をお願いします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

八千代市教育委員会参事の蕨でございます。

おそれ入りますが、着席にて説明させていただきたいと思っております。

私の方から、議題(1)について、ご説明をさせていただきます。

八千代市生涯学習審議会条例第4条第1項の規定により、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。」となっております。先ほど、話がありましたが、長岡会長の辞職に伴い、現在会長が不在となっております。会長選出に関しましては、本日の会議で今期の審議会が終了となること、また前回の会議においても副会長の小出委員に会長の職務を代理していただいたことから、小出委員に会長をお引き受けいただきたく、事務局としては考えております。委員の皆様、いかがでしょうか。

**【委員一同】**

(異議なし)

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

小出委員，お引き受けいただけますでしょうか。

**【小出副会長】**

それでは，お引き受けいたします。よろしく願いいたします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

ありがとうございます。

皆様のご承認をいただきまして，会長が決定いたしました。

これ以降は，小出会長として，議事進行をお願いいたします。

**【小出会長】**

続いて，議題(2)「八千代市生涯学習審議会副会長の選出について」になります。

八千代市生涯学習審議会条例の規定により，副会長につきましても委員の互選により定めることとなっております。

自薦，推薦等はございませんか。

**【小出会長】**

ないですか。

皆様のご異存がなければ，私から推薦させていただきたいと思います。

それでは，今期が3期目でもあり，また，体育協会でも副会長としてご尽力されている豊田委員を副会長に推薦したいと思いますが，皆様ご承認いただけますでしょうか。

**【委員一同】**

（異議なし）

**【小出会長】**

豊田委員，お引き受けいただけますか。

**【豊田委員】**

はい，分かりました。よろしく願いします。

**【小出会長】**

ありがとうございます。

皆様のご承認をいただきまして，副会長が決定しました。どうぞよろしく願いします。

それでは，次の議題に進めさせていただきます。

議題(3)「第2期生涯学習推進計画に係る進捗状況調査の報告について」事務局から説明をお願いします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

はい。それでは、議題(3)についてご説明させていただきます。

皆様に郵送により事前配付いたしました資料のうち、A3横サイズの「第2期生涯学習推進計画に係る取組項目の進捗状況調査結果」をご覧ください。

本調査は、平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「第2期生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習施策として取り組む52項目につきまして、令和元年度の計画に対する実施内容と実施状況の評価、並びにその理由と今後の対応、また、指標を設定している取組みは令和元年度の指標実績値も含め、令和2年6月に、推進部署（担当課）へ調査したものです。この資料は、担当課である市長部局12課、教育委員会3課、消防本部3課、合計18課からの回答を取りまとめた一覧となっております。

まず、令和元年度の評価について、ご説明いたします。

一覧表の右側の中央付近にあります「令和元年度調査結果」の実施状況の欄をご覧ください。令和元年度における取組の実施状況を「A 計画どおり実施した」「B 計画の一部を実施した」「C 実施できなかった」「D その他」として評価しております。

52の取組項目に関する評価は、「A」とした取組が42件、「B」とした取組が9件、「C」とした取組が1件となっており、「D」の評価はございませんでした。

「A 計画どおり実施した」と評価された42件の取組みにつきましては、個々の説明を省略させていただきますが、計画どおり実施したものであっても、指標実績値が目標値（令和2年度末）に達していない取組みや、改善の余地のある取組みもございますので、更なる推進を図るための対応をその右側に記載しております。

次に、「B 計画の一部を実施した」と評価された9件の取組みについて、ご説明いたします。

資料のA4サイズの「第2期生涯学習推進計画に係る取組項目の進捗状況調査結果（令和元年度分）」の(1)にも、B評価の9件の取組みを抜粋しておりますので、併せてご覧ください。

まず[No.1-1-13-14 高齢者の健康づくりの推進]につきまして、A3サイズの資料では、2ページ目の下から1段目、A4サイズの資料では1ページ目の上から1段目になります。取組概要といたしましては、「要介護状態の原因となるロコモティブ症候群や生活習慣病、認知症、低栄養、口腔機能低下等を予防するために、やちよ元気体操の普及啓発や生活習慣の改善に関する健康づくりの講座や講演会等で知識や情報を提供する」ものがあります。令和元年度は、やちよ元気体操の普及啓発及び運動の習慣化を目的とした主催事業を実施、また、まちづくりふれあい講座などの講座を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月下旬以降の主催事業等を中止としたことから指標実績値

が低下したので、B評価としております。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、3つの密（密閉、密集、密接）を避けるなど新しい生活様式をもとに事業に取り組む予定としております。

次に[No.1-1-14-15 健康づくり学習事業の実施・支援]につきまして、A3サイズの資料では、3ページ目の上から1段目、A4サイズの資料では1ページ目の上から2段目になります。取組概要といたしましては、「生活習慣病の発症を防ぎ、重症化を予防するため、健康に配慮した食生活やストレスの対処法、運動習慣など日々の生活で実践できるような生活習慣の改善に関する講座や講演会等で知識や情報を提供する」ものであります。令和元年度は、生活習慣病予防を目的に主催講座等を行い、また、まちづくりふれあい講座などの講座を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2月下旬以降に予定していた事業を中止したことから件数が減少したので、B評価としております。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、3つの密を避ける等新しい生活様式をもとに事業に取り組む予定でございます。

次に[No.1-1-18-20 ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施]につきまして、A3サイズの資料では、3ページ目の下から2段目、A4サイズの資料では1ページ目の上から3段目になります。取組概要といたしましては、「ごみの排出抑制や、減量化、再資源化を啓発するごみ減量学習会やまちづくりふれあい講座、リサイクルフェアを実施する」ものです。令和元年度は、ごみ減量学習会を自治会などに対し実施するとともに、小学校への出前講座を行い、また、リサイクルフェアも開催しましたが、実績値が昨年度より下回っていること及び計画策定時の現況値を下回っているため、B評価としております。今後につきましては、市ホームページへの開催実績の掲載や定期的な開催する減量推進員研修会等において周知し、ごみの減量化やリサイクルの推進に努めることとしております。

次に[No.2-2-2-29 公民館まつりの開催]につきましては、A3サイズの資料では、4ページ目の一番下の段、A4サイズの資料では1ページ目の一番下の段になります。取組概要といたしましては、「サークルの学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催し、地域との交流や生涯学習の啓発を行う」ものであります。令和元年度につきましては、公民館まつりのPRのため広報やちよで特集記事を掲載の上、周知を図り、市内8公民館で公民館サークルを主体として、公民館まつりを開催しました。台風の影響により一部の公民館において開催中止となったこと、また大和田公民館においては仮施設への移転により開催しなかったことから、来場者数が減少したため、B評価としております。今後につきましては、引き続き、日頃の学習成果を発表する場として公民館まつりを開催し、地域との交流や生涯学習の啓発に努め、来場者数の増加を目指すこととしております。

次に[No.2-2-6-33 放課後子ども教室の推進]につきましては、A3サイズの資料では、5ページ目の上から4段目、A4サイズの資料では2ページ目の上から1段目になります。取組の概要といたしましては、「放課後や週末等に、小学校の余裕教室を活用し、子どもたちが安全に安心して活動できる居場所を確保するため、地域住民の参画を得て、子

子どもたちがスポーツや文化活動、地域住民と交流できる場として放課後子ども教室を小学校に学校型として順次開設し、実施するとともに、既存の新川わくわくプレーパークを校外型として併せて実施する」ものであります。令和元年度につきましては、学校型の放課後子ども教室を地域住民の参画を得て、子どもたちに多様な体験交流活動を提供し、村上北小学校、八千代台西小学校、西高津小学校、勝田台南小学校、米本小学校、南高津小学校の計6校で開催をしましたが、校外型の新川わくわくプレーパークが、県立八千代広域公園の整備進捗により平成28年8月末をもって事業を終了したこと、かつ、放課後子ども教室を令和元年度末までに市内7地域に1校ずつの開設ができなかったため、B評価としております。今後につきましては、学校型の放課後子ども教室を令和5年度末までに全小学校で開設することを目指してまいります。

次に[No.2-4-3-40 生涯学習ボランティアの活用の推進]につきましては、A3サイズの資料では、6ページ目の上から2段目、A4サイズの資料では2ページ目の上から2段目になります。取組概要といたしましては、「各分野において知識・技能及び技術を有する人材を登録し、その知識等を学びたい人に紹介することによって市民相互の生涯学習活動を支援し、生涯学習社会の実現を図る」ものであります。令和元年度につきましては、市ホームページ・広報やちよへの掲載や、主催講座・どんと祭でのチラシ配布により、生涯学習ボランティアバンク制度の周知に努めましたが、利用件数、実施回数、延べ利用人数が減少したことに加え、登録講師の更新に当たり、登録者数が減少したため、B評価としております。今後につきましては、講師登録者数及び利用件数等の増加を図るため、更なる制度周知に努め、本制度の活用促進を行ってまいります。

次に[No.2-4-3-41 生涯学習ボランティアの活用の推進]につきましては、A3サイズの資料では、6ページ目の上から3段目、A4サイズの資料では2ページ目の上から3段目になります。取組概要といたしましては、「教えたい人と学びたい人をつなぐ『公民館ボランティア講師制度』の内容を充実させるとともに、市民の積極的な活用を推進する」ものでございます。令和元年度につきましては、新規で1名の講師登録がありましたが、市民からの利用申請がなかったこと、また登録講師の更新に当たり、講師の高齢化等から登録者数が減少したため、B評価としております。今後につきましては、各公民館の主催講座において、公民館ボランティア講師の活用と、ホームページ等での周知及びチラシ配布を検討するなど新規登録の促進を行ってまいります。

次に[No.3-5-1-46 生涯学習情報提供システムの充実]につきましては、A3サイズの資料では、6ページ目の下から2段目、A4サイズの資料では2ページ目の一番下になります。取組概要といたしましては、「生涯学習情報提供システム『まなびネットやちよ』の情報を充実させ、様々な情報の需要に応える」ものであります。令和元年度につきましては、「講座・教室」、「団体・サークル」及び「指導者」に係る情報を随時最新のものに更新し、掲載内容の充実に努めましたが、指標となる「生涯学習情報提供システムへのアクセス件数」が低調であったことから、B評価としております。今後につきましては引き続き生涯



学習情報システムの掲載情報の充実に努め、また館内へのポスター掲示等により生涯学習情報提供システムの周知を行い、アクセス数の増加を図ってまいります。

次に〔No.3-6-2-54 郷土博物館展示事業〕につきましては、A3サイズの資料では、8ページ目の一番上の段、A4サイズの資料では3ページ目の一番上の段になります。取組概要といたしましては、「常設展のリニューアルを検討・計画し、展示内容を充実させる」ものであります。令和元年度につきましては、常に新しい展示となる企画展等を3回以上開催するなど、館事業の充実に努めましたが、常設展についてはリニューアル及び小規模な展示替えを行うことができなかったため、B評価としております。今後につきましては、可能な限り、常設展示の更新を図り、魅力的な企画展を実施することで、利用促進に努めてまいります。

以上が、「計画の一部を実施した」と評価された9件の取組となります。

続きまして、「C 実施できなかった」と評価された1件の取組について、ご説明いたします。

〔No.1-1-8-9 八千代台東南公共センター主催事業の実施〕につきましては、A3サイズの資料では2ページ目の2段目、またA4サイズの資料では、3ページ目の2段目となります。取組概要といたしましては、「施設の特長を生かした事業を実施し、市民のコミュニティ活動の推進、教養の向上及び社会教育の振興を図る」ものであります。令和元年度は、八千代台東南公共センターの主催事業として2事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止したため、C評価としております。今後につきましても、指標の目標値である3事業の主催事業開催を目指し、施設の特徴を生かした事業を検討し、内容の充実に努めてまいります。

以上「B 計画の一部を実施した」9件の取組と「C 実施できなかった」1件の取組の説明をさせていただきました。これらの取組に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が開催できなかったなど致しかたないものも含まれておりますが、事務局といたしましても、改善が図られているのか引き続き担当課の取組みに注視しているところでございます。

評価の前年度との比較につきましては、42項目のA評価のうち、前年度同様にA評価だったのは39項目、B評価からA評価へ上がった項目は【1-1-22-26 身近な消防啓発の充実】A3サイズの資料では、4ページの上から5段目になります、【1-1-23-27 救命技術教育の推進】A3サイズの資料では、4ページの上から6段目になります、【3-6-1-53 生涯学習関係施設の整備・改善】A3サイズの資料では、7ページの下段になります、以上の3項目となりました。

B評価のうち、A評価からB評価へ下がった項目は【1-1-13-14 高齢者の健康づくりの推進】A3サイズの資料では、2ページ目の下段になります、【1-1-14-15 健康づくり学習事業の実施・支援】A3サイズの資料では、3ページ目の上段になります、【2-4-3-40 生涯学習ボランティアの活用の推進】A3サイズの資料では、6

ページ目の上から2段目になります，【3-6-2-54 郷土博物館展示事業】A3サイズの資料では，8ページ目の上段になります，以上の4項目であります。

前年度同様にB評価だったのは【1-1-18-20 ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施】A3サイズの資料では，3ページ目の上から6段目になります，【2-2-2-29 公民館まつりの開催】A3サイズの資料では，4ページ目の下段になります，【2-2-6-33 放課後子ども教室の推進】A3サイズの資料では，5ページ目の上から4段目になります，【2-4-3-41 生涯学習ボランティアの活用の推進】A3サイズの資料では，6ページ目の上から3段目になります，【3-5-1-46 生涯学習情報提供システムの充実】A3サイズの資料では，6ページ目の上から8段目になります，以上の5項目となりました。

C評価につきましては，B評価からC評価へ下がった項目が【1-1-8-9 八千代台東南公共センター主催事業の実施】A3サイズの資料では，2ページ目の上から2段目の1項目となりました。説明は以上となります。

#### 【小出会長】

ただいま，事務局から説明がございました。

まず，あらかじめ事務局に確認しておきますが，委員の皆様から事前に，質問表は提出されているか，報告してください。

#### 【事務局（蕨教育委員会参事）】

小林委員からご提案をいただいております。

「資料1 議題(3)に対する質問表」をご覧ください。小林委員が作成して下さったものを委員の皆様へ配付させていただきました。ご提案内容と事務局の見解についてご説明いたします。

第2期生涯学習推進計画の取組項目について，小林委員の方で8分野に分類整理したところ，表の中でNo.5からNo.8の分野の件数が少ないということで，次年度以降の取組みに当たり，No.5からNo.8の分野の充実をご提案いただいたものです。

このことにつきましては，次期生涯学習推進計画策定に当たり，貴重なご意見として参考にさせていただきたいと思っております。

以上，小林委員からのご提案と事務局の見解でございます。

#### 【小出会長】

ありがとうございました。

それでは，本日の説明を聞いて，委員の皆様からご質問等がありますか。

質問のある委員は，挙手をお願いいたします。

何かございませんか。

ご意見がないようなので、次の議題に移ります。

議題(4)「八千代市生涯学習基本構想の今後について」、事務局から説明をお願いします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

それでは、八千代市生涯学習基本構想の今後について、ご説明いたします。右上に議題(4)と書かれております『「八千代市生涯学習基本構想」の今後について』という資料をご覧ください。

まず経緯をご説明いたします。

「八千代市生涯学習基本構想」は、経済の発展に伴う生活水準の向上及び価値観の多様化に加え、情報化・高齢化の進展等、急激な社会・経済構造の変化を踏まえ、市民一人一人が生涯の各時期（ライフステージ）において、自発的な意思により学習に取組み、自己の充実・啓発を行うことで豊かな生活が営めるよう、本市における生涯学習に関する施策を総合的に推進していく指針として、平成7年に策定しております。

その後、生涯学習基本構想に基づき、「生涯学習推進計画」を第1次から第4次まで作成し、平成22年には、生涯学習基本構想の策定から15年が経過したことによる社会情勢の変化に加え、教育基本法において生涯学習の理念が明文化されたことに伴い、新たな課題に的確に対応するため「第2次八千代市生涯学習基本構想」を策定し、第1期及び第2期生涯学習推進計画により、生涯学習施策の推進を図ってまいりました。

次に現状といたしまして、生涯学習基本構想は、「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」において、『都道府県は、特定の地区において基本的な構想を作成することができる。』と定められておりますが、市町村の作成に関する規定はなく、また、文部科学省が平成30年10月に公表した「生涯学習・社会教育振興施策に関する基礎資料」では、『都道府県においては、「生涯学習に資する計画等は策定していないが、教育全般に関する計画等を策定し、その中で生涯学習について規定している」が最も多く、市町村においても同様の傾向』となっております。

県内の他市町村においても、教育全般に関する計画に生涯学習について規定しているところが多く、単独で生涯学習に関する計画等を作成している市町村でも、生涯学習基本構想は策定せず、総合計画や推進計画等に位置付けている市町村が多い状況であります。

なお、本市においては平成31年4月1日に施行された組織機構改革に伴い、生涯学習部が市長部局から教育委員会に移管したことにより、「教育施策と事業概要」及び「八千代市教育大綱」に生涯学習に関する位置付けを行い、今後改定が予定されている「第2期八千代市教育振興基本計画」でも生涯学習について位置付けることとしております。

以上のことを踏まえ、今後につきましては、計画等のスリム化の観点も考慮し、生涯学習基本構想の策定は行わず、「総合計画」、「教育振興基本計画」及び「生涯学習推進計画」等で、生涯学習推進の基本的な考え方や施策の方向性を示すとともに具体的な取組みを位

置付け、本市の生涯学習施策を総合的・体系的に推進してまいりたいと考えております。  
説明は以上となります。

**【小出会長】**

ただいま、事務局から説明がございました。先ほどの議題と同様に、事務局へ確認しておきますが、委員の皆様から事前に質問表は提出されているか報告してください。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

事前の質問等はお受けしておりません。

**【小出会長】**

ありがとうございます。

それでは、本日の説明を聞いて委員の皆様からご質問等がございますか。

質問のある委員は挙手をお願いいたします。

**【小出会長】**

上條委員。

**【上條委員】**

計画が新しくなった場合、この生涯学習審議会で、これまでこのような形で、市長部局における取組みも含め、生涯学習の実施状況を点検評価してきたのですが、今後は、教育委員会の枠内におけるこの生涯学習の取組みというような形になるのかどうか、ちょっと分かりませんので、そこのところをお聞きしたいと思います。

**【小出会長】**

事務局。回答をお願いします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

お答えします。先ほど説明の中にも入れさせていただいたのですが、総合計画の中でも位置付けをいたしますので、全庁的に今までと変わらず、取組んでまいりたいと考えております。

**【小出会長】**

上條委員。

#### 【上條委員】

生涯学習審議会で、このように全庁的な生涯学習の取組みをまとめて、点検・評価すること、生涯学習振興課が要の役割を果たすというのは非常に積極的な意義があると考えており、これは全国的に見ても、こういう取組みをしている自治体は、特に調べたわけではございませんが、私が情報を得た限りでは、今のところ全然ないのではないかという感じでして、あるとしても少ないというように思っているわけでございます。そういう意味では、今のお話を伺いまして、ぜひその線で進めていただきたいというふうに思ったところです。

併せて意見を述べさせていただきますと、せっかく教育委員会に、この生涯学習振興課が戻ったということですので、私の知人の方にその話をしましたら、それはいいですねと、逆に市町村長部局の方に移行するケースが多い中、それはいいことだと言っていたのですが、この機会に、学校とその地域社会との連携の実施状況についても、評価するというようなことがなされると、とてもよろしいのではないかと考えております。

ただそのことが、学校に過度な負担を掛けるような形になるとまずいので、できるだけ負担をあまり掛けない形で、調査をして評価するというような形が取れると、大変よろしいと思っており、その点をせっかく学校の代表という意味で、岡委員も出席していらっしゃいますので、ご意見を伺いたいと思っております。

#### 【小出会長】

岡委員。回答をお願いします。

#### 【岡委員】

先ほどの挨拶でもありましたが、教育委員会と、学校、小・中学校は、かなり密に今回のコロナ対応もしました。学校と地域連携というのは、SDGs、持続可能な開発社会を目指してということで、今、取組み始めたところでもあります。ですので、今これといった明確なものはないのですが、始まったというところはありますので、そこにいろんな意見をいただいて、学校で協力できる場所は、積極的に、逆に学校から地域にお願いしたいことは、どんどん意見を集約して、こういう場を生かしていければと考えております。

#### 【小出会長】

よろしいですか。

#### 【上條委員】

ありがとうございます。

【小出会長】

他にご意見はございますか。

小林委員。

【小林委員】

今、議題4の説明をいただいたのですが、議題3に関し私が質問をしたこととも関係するのですが、新しく計画を策定するときは、この52項目以外に、プラス、あるいはマイナスなど、52項目の推進項目というのは見直しされるということなのでしょうか。

【小出会長】

事務局。回答をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

この52項目につきましては、現在の計画が終わりましたら、分析等も行いますので、それも踏まえて、新しい計画では、内容を更新し、見直しされたものになってまいります。

【小出会長】

小林委員。

【小林委員】

現在の計画は、平成28年度から令和2年度までということなので、来年度から見直されるということなのですか。

【小出会長】

事務局。回答をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

今年度中に計画を策定しますので、その中で検討し、見直してまいりたいと考えております。

【小出会長】

小林委員。

【小林委員】

私が質問表で出しましたように、この52項目を私が独断と偏見で分類しますと、質問表に書いたようなジャンルになるんですね。

それで、特に専門的な研修といたしますかね、この私の表でいくと、5・6・7、安全安心の問題とか、いわゆる実務知識の習得、ここでは子育てとか、消費者被害ということの研修が52項目の中に含まれているのですが、こういうのが非常に助かると思うのですね。

その他、人権平和の学習、ここでは、平和事業とか対女性暴力抑制といった項目として入れているのですが、こういう、安全安心・実務・人権平和といった内容については、市民が非常に関心はあるけれども、自ら学ぶことは難しいので、やはりこの事務局の方で、しかるべくコーディネートをしていただければ、非常に助かるのではないかと、こういうふうに思うわけでありませう。

そういった点は、ぜひ、今後の新しい項目を検討される中で、頭・心の隅に入れていただければありがたいと思います。

#### 【小出会長】

事務局。回答をお願いします。

#### 【事務局（蕨教育委員会参事）】

小林委員からの貴重なご意見等もいただきましたので、こういったことも参考にいたしまして、担当部局ともども、いろいろと検討していきたいと考えております。

#### 【小出会長】

小石川委員。

#### 【小石川委員】

今回のものを見直して、分析をして、新しい計画を考えられるとおっしゃっていたので、私もちょっと一言、注文をつけたと思います。

生涯学習というのは、楽しくやるよう盛り上げなければいけない一つの運動だと思うのです。学習というのは、子どもの時からそうですけど、楽しいことであればやりますが、なかなか取組みにくい。

今回の取組結果をずっと見てみると、やっぱり分析が甘いですね。

本当にこれで次回、次年度に、上手くいかなかった理由にして評価したというものが、改善されるかという、そうでもないですよというのが、いっぱいあるような気がしました。

例えばBの、高齢者の健康づくり推進とありますよね。

A3で、2ページの一番下。

今回、新型コロナウイルスが出てきて、右往左往していますけど、これは簡単に治らなかつたら、あるいはもっと別の形のもが出てきたら、この高齢者の健康づくりの推進のところにかかれてある新しい生活様式になったときには、やるっていうのは、そう簡単ではないですよ。

だから、いつも思うのですが、本当の理由というのを、踏み込んでいないと思うのです。そこをやれば、本当に実績の上がるいいものになるのではないかと。

こういう話を前回もしたのですが。もう一つ。

私に関心のある生涯学習ボランティアの活用ってありますね。システム。

A3で6ページの、上から3段目と下から2段目。これは結構、今の世の中で大事な情報入手の方法ですから、発信受信の一つのシステムですから、これが活用できないのに、というのは大問題だと思います。上から3段目のところに教えた人と学びたい人をつなぐって書いてありますよね。だけどボランティアの人を入れても、話を聞きたいという希望がなかった。これは完全な待ちですよ。

それから、その下に行くと、生涯学習システムそのもののアクセスが低調だと。

しかし今後の対応のところでは、それについて、システムへのアクセス数の増加を図る。

これは根本的な問題を完全に見過ごしているではないですか。いや、難しいと思うのですよ、こういうのは。我々のビジネスができてきているというのは、情報発信システムを無視されると何にもならないのですよと、いかにお客さんをこちらに向けるかいうことを我々苦勞するわけですよ。そこが一番の苦勞するところです。一旦良いという形が見つかったら、どんどん使っていただけることができるのです。だから、今回テレワークは盛んになったじゃないですか。そのとき、どういう方法だったら安い方法で、良好な生活ができるかと。

新しい生活の一部がチェンジできるかという、そのための情報、生涯学習ではこんなものがありますよということが、まさにさっき、基本計画の中で最初のところにうたっていたところですね。これで自分の生活を変えていくために、新しいものを学んで、それが生涯学習の根本だと。だからこういうものは、盛り込んでありますよと。つまり発信する側も常にアンテナを張って、そういうものを持って入れていかなければいけない。入れて知ってもらわなければいけない。

健康増進についても、新しい社会生活スタイルに合わせつつありますが、その場合、例えば動画を使っただけじゃいいじゃないですか。今健康診断で、毎年、市の健康診断ありますよね。例えばヘモグロビンA1Cがあるじゃないですか。あれ、いつも不思議でしょうがないのですが、制限値というのは、5.9か何かですよ。ヘモグロビンA1Cというのは、病院に行けば、6.5ならいいって言うのです。だけど八千代市の目標値というのは、5.9か何かですよ。5.9って一体何だと。もっと現実的な基準値というのはそこで、決めていくとか、あるいは健康診断表の評価、見方を動画で示すとか、そういうような、もう一歩ね、使う側の身になってやっている施策と、生涯学習っていうのは元気になるという気がします。いかがでしょうか。

#### 【小出会長】

事務局。回答をお願いします。



#### 【事務局（蕨教育委員会参事）】

今いただきましたご意見等、貴重なところも、ぜひそういうところは検討して、参考に取り入れていきたいと考えておりますが、何分このコロナ禍のことですと、まだ我々もちょっと暗中模索で動いているところがございますので、それを踏まえて、今、ちょっと落ちてきてきたのかどうなのかちょっと分からない状況ではございますが、そこら辺のことも見直しながら、また、担当課と一緒にですね、考えていきたいなと思っております。

#### 【小出会長】

上条委員。

#### 【上條委員】

今、情報提供についての話がございます、私もこれは非常に大事なことだと思っておりますのでちょっと私の体験からですね、少し付け加えさせていただきたいと思います。

以前私が関心を持っている分野についてですね、サークル活動が行われているかどうかということも、その八千代市役所のサイトからですね、サークル情報というのを一応キーワードで入れましたら、そしたら公民館ごとの、このサークル情報が分かるような形になっていたのですね。私は全体まとめて、市全体でそういうサークルがあるかどうかと、私の求めるサークルがあるかどうかということを知りたかったものですから。

ちょっと違う形で調べてみたのですね。

「まちの情報」に入りましたら、「学び・生涯学習」というところに行きまして、そこからさらに生涯学習というところを開きましたら、その生涯学習についていろいろ情報がある中の最後のところに、「学びネットやちよ」というのがあったのですね、これご存じのとおり、生涯学習プラザで行っている情報提供ですけども、そこに入りましたら、それこそ検索がなかなかよくできておりまして、キーワード、それからカテゴリとかですね、そういうものを選択しましたら、出てきたんですね。ですので、そういうことを考えますと、いかにその市民の方が求める情報をきちんと得られるかということですね。たやすく得られるか。形からですね、情報提供のあり方をもうちょっと再検討していただければと思っています。

どうしても市役所の仕事だとよく言われるように、縦割りがありますので、横につながということをですね、その辺の工夫もしていただけるというように思っているところです。

ぜひ市民の立場に立って市民の声を聞きながら、今の情報提供は市民からどう受けとめられているのかとかですね、いかに活かされているのかということ点を点検しながら進めていただけると、今委員の方からご指摘いただきましたように、いろいろな情報提供の仕方がありますので、その辺の活用も含めて、ご検討いただければありがたいと思います。

【小出会長】

事務局。回答をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

貴重なご意見ありがとうございます。私どもも研究を重ねて参りたいと思います。

【小出会長】

小林委員。

【小林委員】

今、小石川委員からですね、コロナ後の新しい生活という話が出たのですが、ちょっと思いついたのですが、とにかくあちこち移動できないので、最近パソコンとかスマホを使ってですね、例えば遠隔地の孫と会話をすると。ズームとかいうソフトがあるようですが、こういうものが、これから、コロナ禍の生活としては、ますます要求されると思うのです。

特に若い人は、いろいろ学ぶ機会がありますが、高齢者たちが、そういうAI機械を使って、遠隔地の孫と会話しようとしてもなかなか使い切れない。

そういったことなども含め、私が申し上げた専門的知識を習得する一助としてのテーマをお考えいただきたいという中に、コロナ禍での生活ということ念頭に置かれたテーマをぜひ検討していただきたいということです。

【小出会長】

事務局。回答をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

貴重なご意見ありがとうございます。

まさしく、そういうテーマとしては、重要なものだと認識しておりますので、いろいろと考えて参りたいと思っております。

【小出会長】

他にご意見のある委員はおられますか。

【小出会長】

豊田副会長。

**【豊田副会長】**

新しい時代の新しい計画、それから教育委員会のこうしたことに伴う、事業の見直しということがあると思うのですが、この生涯学習審議会そのものは、今後どうなっていくのでしょうか。9月30日で、一応任期が切れることとなります。条例では、市長の諮問に応じ市の処理に関してということで、いわゆる市長部局にあったときの、条例に基づいてくる審議会というわけなんですけども、今後この会議っていうのは継続されていくのか質問したいと思います。

**【小出会長】**

事務局。回答をお願いします。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

ご質問にお答えいたします。任期が間もなく切れるということもございしますが、新しくですね、委員さんをまた選びまして、今後策定していく計画について、ご意見等いただきながら、策定して参るということを考えております。

あと年内、新しい委員になってから2回の開催を予定しております。

ただ条例等によって市長部局になっておりますけれども教育委員会に移管したからといって、教育長に変わるということではなく、市長の下で、この審議会は存続して参ります。

**【小出会長】**

他にご意見ありますか。

それでは、最後に事務局から連絡事項等がありますか。

事務局どうぞ。

**【事務局（蕨教育委員会参事）】**

事務局から連絡事項が2点ほどございます。

まず1点目が、現在八千代市生涯学習審議会の市民委員の募集を行っております。

任期につきましては、令和2年10月1日から2年間でございまして、募集期間が8月14日（金）までとなっております。詳細につきましては、市ホームページ及び広報やちよ7月15日号に掲載しております。

続いて2点目として、委員報酬の振り込みについてですが、振込先を変更される場合は、お帰りの際に「委員報酬振込依頼書」のご提出をお願いいたします。変更のない場合は提出不要となります。

連絡事項は以上となります。

**【小出会長】**

では、以上をもちまして、令和2年度第1回八千代市生涯学習審議会を終了します。  
本日は、長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。